

学生の確保の見通し等を記載した書類 別紙資料

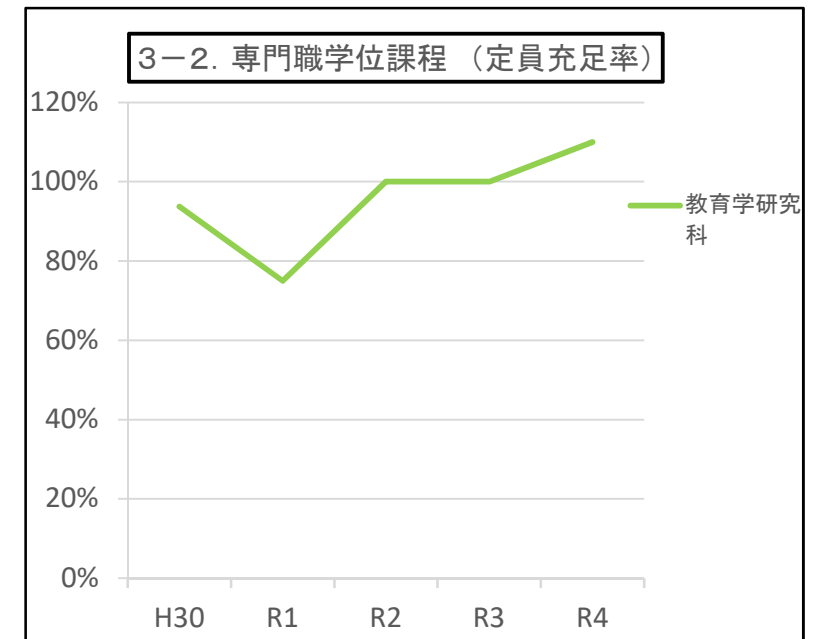
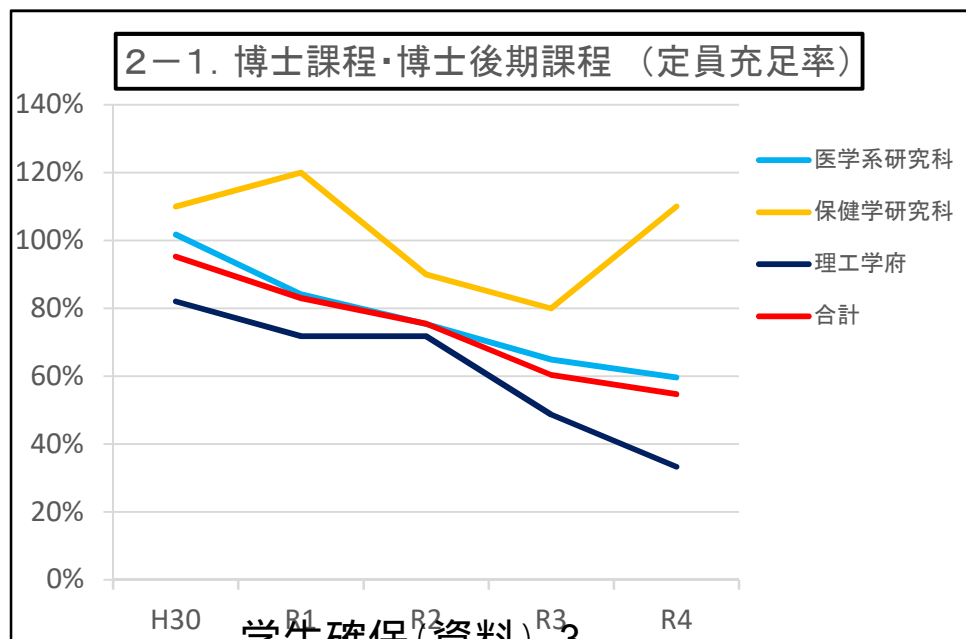
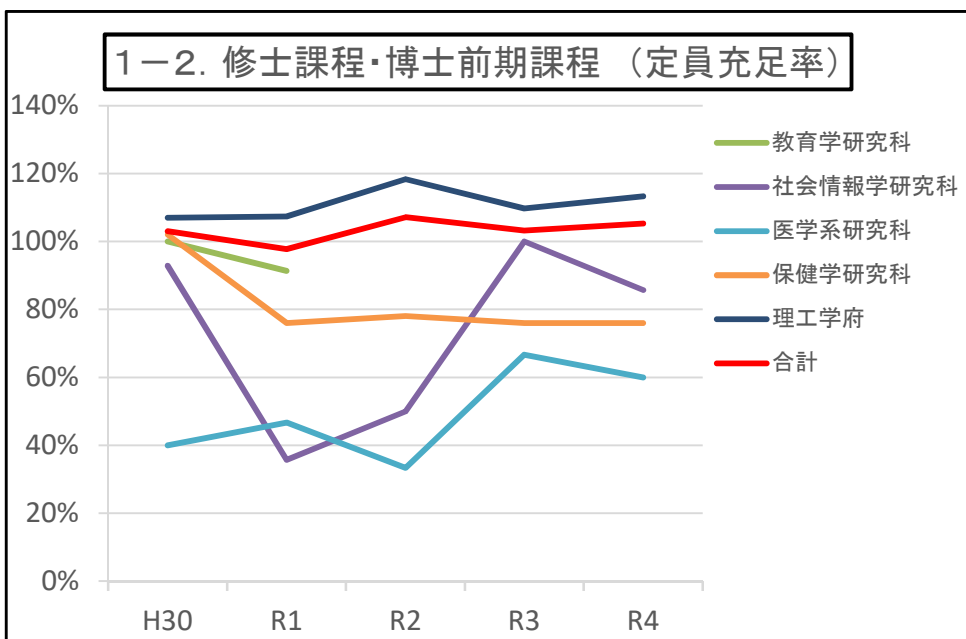
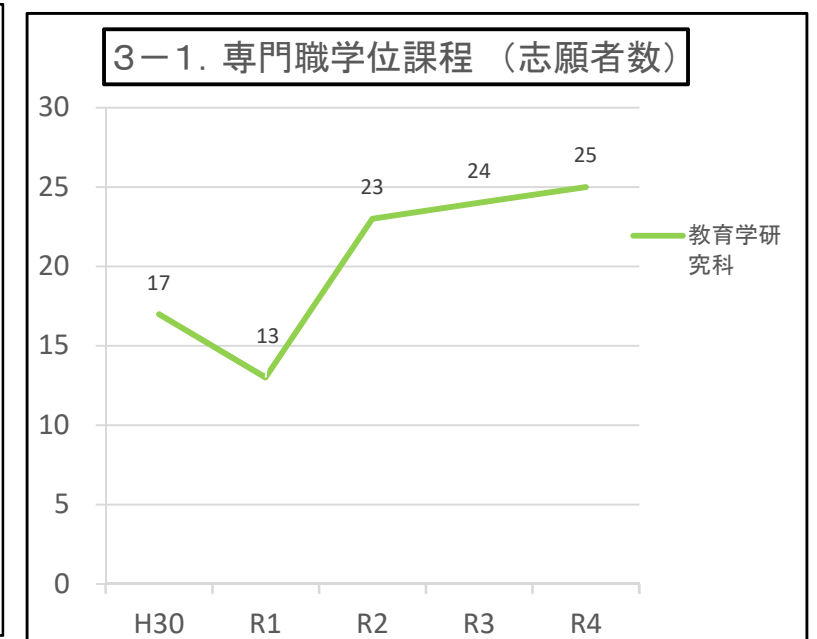
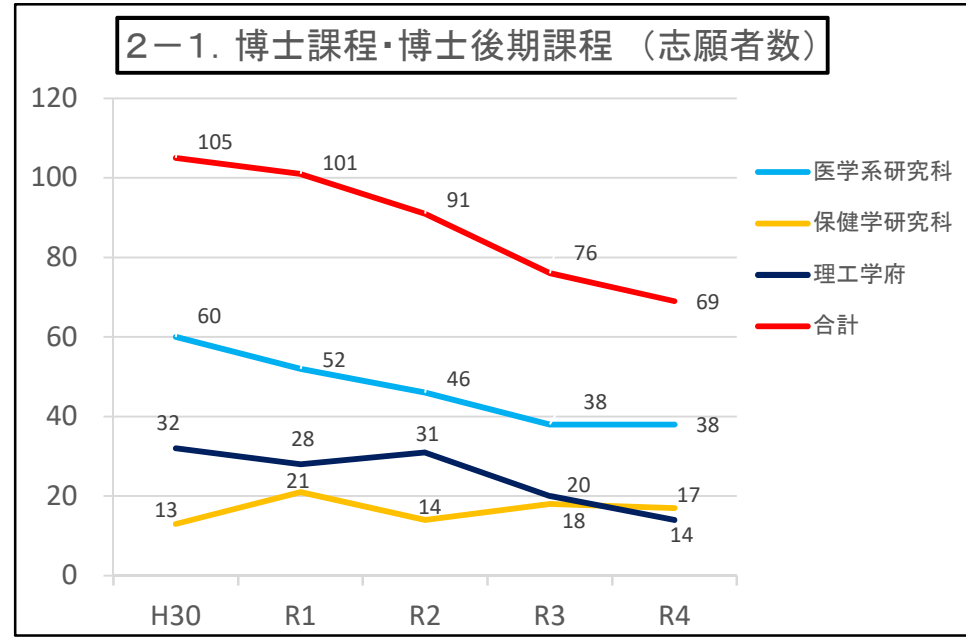
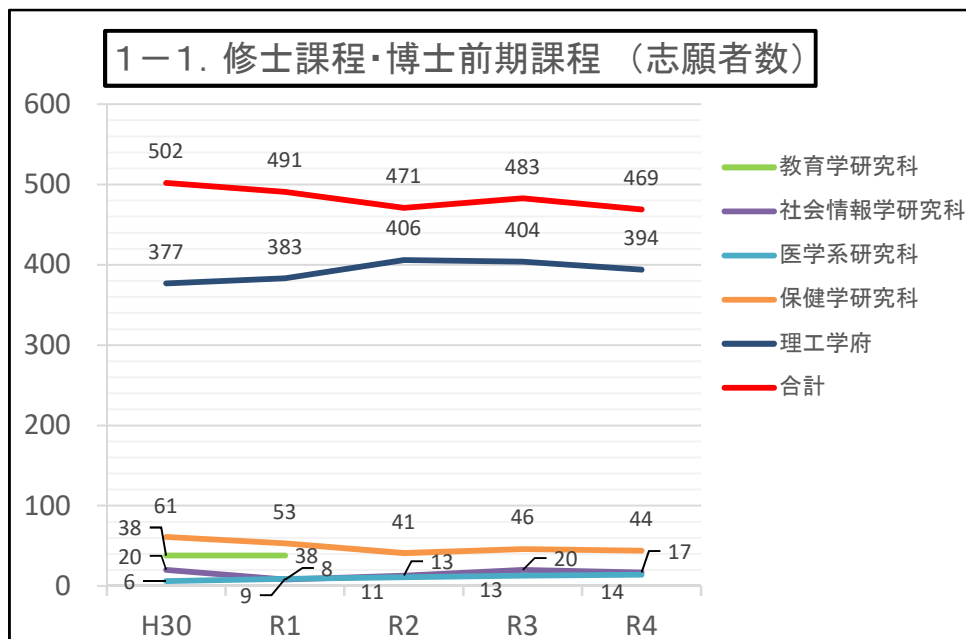
資料 1	入学志願者状況(平成 30 年度～令和 4 年度)・・・・・・・・	3
資料 2	ニーズ調査パンフレット・・・・・・・・	5
資料 3	ニーズ調査(学生対象)調査結果・・・・・・・・	9
資料 4	ニーズ調査(企業対象)調査結果・・・・・・・・	19
資料 5	群馬県からの要望書・・・・・・・・	31

群馬大学大学院 入学志願状況等（平成30年～令和4年度）

区分・入試年度→ 研究科・学府↓	募集人員(人)					志願者数(人)					入学者数(人)					定員充足率					
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	
1. 修士課程・ 博士前期課程	教育学研究科	23	23				38	38				23	21				100.0%	91.3%			
	社会情報学研究科	14	14	14	14	14	20	8	13	20	17	13	5	7	14	12	92.9%	35.7%	50.0%	100.0%	85.7%
	医学系研究科	15	15	15	15	15	6	9	11	13	14	6	7	5	10	9	40.0%	46.7%	33.3%	66.7%	60.0%
	保健学研究科	50	50	50	50	50	61	53	41	46	44	51	38	39	38	38	102.0%	76.0%	78.0%	76.0%	76.0%
	理工学府	300	300	300	300	300	377	383	406	404	394	321	322	355	329	340	107.0%	107.3%	118.3%	109.7%	113.3%
	合計	402	402	379	379	379	502	491	471	483	469	414	393	406	391	399	103.0%	97.8%	107.1%	103.2%	105.3%
2. 博士課程・ 博士後期課程	医学系研究科	57	57	57	57	57	60	52	46	38	38	58	48	43	37	34	101.8%	84.2%	75.4%	64.9%	59.6%
	保健学研究科	10	10	10	10	10	13	21	14	18	17	11	12	9	8	11	110.0%	120.0%	90.0%	80.0%	110.0%
	理工学府	39	39	39	39	39	32	28	31	20	14	32	28	28	19	13	82.1%	71.8%	71.8%	48.7%	33.3%
	合計	106	106	106	106	106	105	101	91	76	69	101	88	80	64	58	95.3%	83.0%	75.5%	60.4%	54.7%
3. 専門職学位 課程	教育学研究科	16	16	20	20	20	17	13	23	24	25	15	12	20	20	22	93.8%	75.0%	100.0%	100.0%	110.0%
	合計	16	16	20	20	20	17	13	23	24	25	15	12	20	20	22	93.8%	75.0%	100.0%	100.0%	110.0%

※教育学研究科修士課程は、改組により令和2(2020)年度募集を停止。

※H29～R3の志願者数及び入学者数は、10月入学者を含む。



【2024年4月 開設予定】

群馬大学大学院 新研究科・新学環

情報学研究科

食健康科学研究科

パブリックヘルス学環

医理工レギュラトリーサイエンス学環

設置構想中

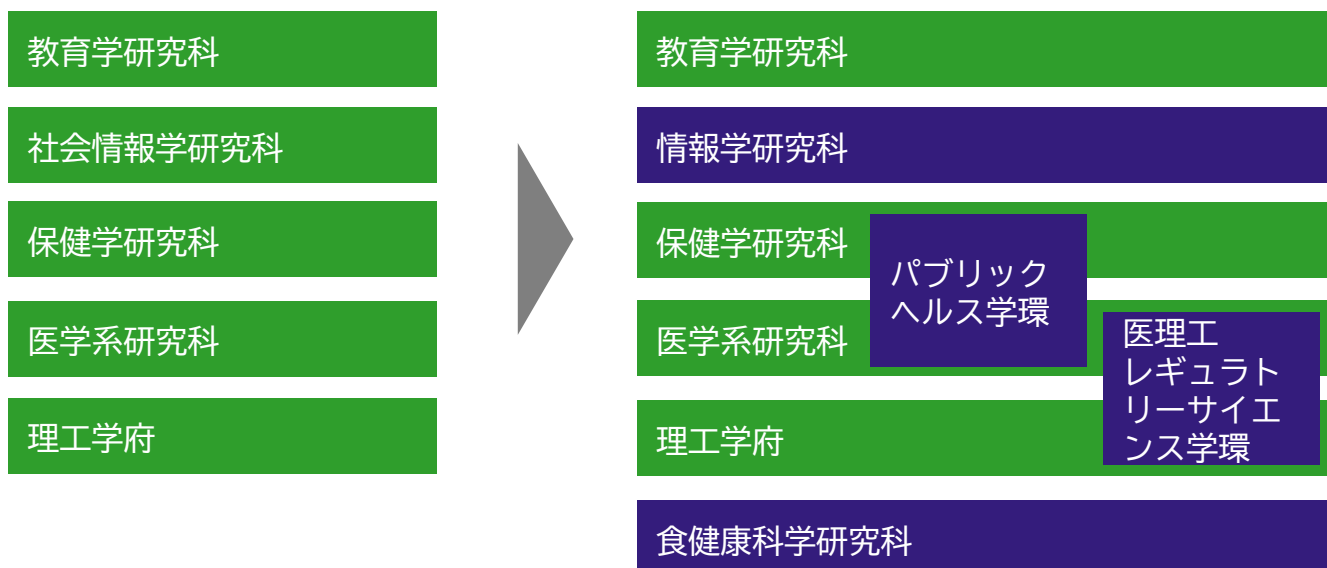
掲載内容は予定であり、
変更する場合があります。

群馬大学では新たな大学院を設置し 社会課題を解決する実践力を もつ人材の育成を強化します

1. デジタル分野を牽引する高度専門人材の育成を強化します
2. 予測不可能な時代の到来を見据え
分野横断的な高度専門知識・能力を持つ
高度専門職業人の育成を強化します

改組前

改組後



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

社会情報学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	人文科学・社会科学、情報科学の知識とそれに基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して、行政・企業・NPOなどの各組織における意思決定に具体的・実践的に関与できる「高度専門職業人」を育成します。 そのために、メディアと社会の双方への視点を身につけ、社会から情報を獲得・分析し、社会への還元を立案できる能力を涵養する科目群を提供します。	情報学
博士後期課程	現在の社会変動の方向性を深く洞察し、今後の高度情報社会の具体的なあり方を、その原理的な社会理念に溯って構想し、現実の諸問題の解決を企画・立案できる「指導的高度専門職業人」および「実践的研究者」を育成します。そのために、情報の統括と組織の革新、現代社会・経済の状況分析、現代社会の理論的把握などに関する科目群を提供します。	情報学

情報科学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	情報科学・データサイエンスの専門知識に基づいて研究開発の一翼を担える能力を涵養するとともに、情報技術と密接に関係する社会の諸相について理解を深めます。これらを通じて急激に変化する社会に対応して専門知識に基づく問題解決を図り未来社会の創造を担う高度専門職業人を育成します。	情報学
博士後期課程	社会における課題を俯瞰的に把握して情報科学・データサイエンスの観点から実践的に課題解決・研究開発ができる高度な実践スキルと応用力を修得し、国際的に活躍できる高度専門職業人・先端研究者を育成します。	情報学

修了後の主な進路

大学・研究機関、自治体、官公庁、金融機関、
電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、電気・情報通信機械器具製造業、
電子部品・デバイス・電子回路製造業、運輸業、
学術研究 専門・技術サービス業、複合サービス業



食健康科学研究科

荒牧キャンパス
桐生キャンパス
昭和キャンパス

食健康科学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	近年の人々の健康志向の高まりから「健康・美容」などへの展開が図られており、食のエビデンスベースの高付加価値化は益々期待されています。本プログラムでは、食品科学、食品生産工学、医科学、保健学を基盤とする食健康に関する高度な科学リテラシーを身につけ、これを食品開発や、健康寿命延伸の分野に寄与できる人材を育成します。育成人材は、食品産業、医療・医薬系産業、自治体等において、食品生産や食健康科学の専門家として活躍します。	食健康科学
博士後期課程	超高齢化社会に突入した我が国において健康寿命延伸は、重要な社会課題となっています。食健康科学は、この課題に大きな示唆を与えます。本プログラムでは、食健康科学分野において、総合的な科学リテラシーを身につけるとともに、これらを生かして、産業振興や健康長寿社会創出を牽引できるグローバル人材を育成します。	食健康科学

修了後の主な進路

大学・研究機関、自治体、官公庁、食料品製造業、飲料製造業、
有機化学工業製品製造業、医薬品製造業、化粧品製造業、
産業用電気機械器具製造業



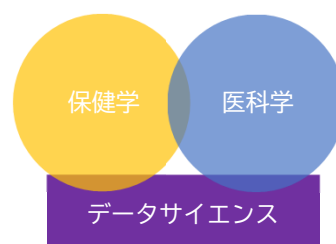
【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

社会健康医学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	<p>人々の健康を増進し、疾病を予防するとともに、地域・国・地球レベルの健康への脅威に対処し、健康水準の格差を是正するための組織的な活動に寄与する最先端研究を推進します。そして公衆衛生の両輪である実践と研究のいずれの分野でも活躍できる卓越した能力を持った人材を育てるため、生物統計学の分析力と実践力を磨き、公衆衛生の専門家として必要となる知識・技能とともに、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力のある高度専門家を育成します。</p> <p>※1年コース（医師・歯科医師・博士号取得者向け）と2年コース（上記以外）を設置</p>	社会健康医学
博士後期課程	<p>様々なバックグラウンドをもつ人材が必要とされている公衆衛生の領域において、特に疾病予防・医療・介護等のヘルス分野における専門知識・技術に生物統計学の知見を融合させた高度な実務・研究能力を有する人材を育成します。</p>	社会健康医学

修了後の主な進路

医療機関（臨床研究中核病院）、保険業、医薬品製造業、自治体、官公庁、大学・研究機関、シンクタンク、コンサルタント業（医薬品開発業務受託機関）



医理工レギュラトリーサイエンス学環

重粒子線医理工学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	<p>重粒子線医理工学の分野横断的連携を基盤として、生命医科学、医学・医療及び理工学における学際的学問領域の研究を主体的に担うことができ、リーダーシップを発揮できる研究者・教育者、社会のニーズに対応できる高度職業人を育成します。また、医学物理士も育成します。</p>	生命医科学 理工学
博士後期課程	<p>重粒子線医理工学の分野横断的連携を基盤として、独創性や創造性に富んだ研究を遂行する能力、確固たる科学的倫理的価値観に基づき協調しながら国際舞台で活躍する能力を育成し、グローバル、さらにユニバーサルに医療や社会に貢献する医学及び理工学にかかわる人材を育成します。</p>	医学 理工学

修了後の主な進路

大学・研究機関、医療機関、医学物理士、産業用電気機械器具製造業（医療機器、電子応用装置）



【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

入学料・授業料（現行）

入学金 282,000円

授業料 535,800円（年額）

※入学金・授業料の免除、奨学金、教育研究補助員雇用などの経済的支援制度があります。

設置場所・アクセス



荒牧キャンパス

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

バス

- JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
- 群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）
- 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分+徒歩10分）

昭和キャンパス

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22

バス

- JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
- 全線「群大病院入口」下車（所要時間約13分+徒歩6分）
- 群大病院行・群大病院經由群馬大学荒牧行、群大病院・南橋団地經由群馬大学荒牧行、群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車（所要時間約15分）
- JR前橋駅北口3番乗り場（日本中央バス）
- 群馬総社駅「群大病院」下車（所要時間約15分）



桐生キャンパス

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

電車

- JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
- 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km

バス

- JR桐生駅北口乗り場（おりひめバス）
- 旧女子高前行・上菱団地行・梅田ふるさとセンター前行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約7分）
- 菱線右回り「群馬大学桐生東門前」下車（所要時間約7分）
- 東武新桐生駅乗り場（おりひめバス）
- 旧女子高前・上菱団地行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約15分）



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
<https://www.gunma-u.ac.jp/>

【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、以下の新しい大学院を設置することを検討しています。

- ・情報学研究科
- ・食健康科学研究科
- ・パブリックヘルス学環
- ・医理工レギュラトリーサイエンス学環

本アンケートは、学生の皆さんの進路選択に関する考え方、大学院で学びたいことなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

(1) はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

① あなたが所属する大学について教えてください。 *

(例) ○○大学

回答を入力



② あなたが所属する学部・学科または研究科・専攻等について教えてください。 *

(例) ○○学部○○学科、○○研究科○○専攻

回答を入力

③ あなた学年について教えてください。 *

- 学部1年生
- 学部2年生
- 学部3年生
- 学部4年生
- 学部5年生
- 学部6年生
- 修士1年生
- 修士2年生

④ あなたは、大学（学部・研究科）卒業後の進路について、現時点ではどのよう *
に考えていますか。

以下の項目から、あてはまるもの1つをお選びください。（1つだけ）

- 大学院に進学（博士課程まで）
- 大学院に進学（修士課程まで）
- 就職
- その他

1/2 ページ

次へ

フォームをクリア

 Google フォームでパスワードを送信しないでください。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

ここからは、リーフレットをみながら回答してください。

※リーフレットは以下のURLからアクセスできます。

https://drive.google.com/file/d/12pn7GHw3l21mWFyz4JBLud9ZYy78IH2L/view?usp=share_link

(2) 群馬大学において新たに設置・改組しようとしている大学院についてお聞きします。



⑤ リーフレットに記載されている新たな研究科・学環について、あなたはどの * 程度魅力を感じますか。

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
情報学研究科 社会情報学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究科 食健康科学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘルス学環 社会健康医学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エリギュラトリーサイエンス学環 重粒子線医理工学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



⑥ リーフレットに記載されている新たな研究科・学環について、進学したいと *
 思いますか。

	進学したい	どちらかと言え ば進学したい	どちらかと言え ば進学したいと は思わない	進学したいとは 思わない
情報学研究科 社会情報学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログ ラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究 科 食健康科学 プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘル ス学環 社会健 康医学プログラ ム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エリギュラ トリーサイエン ス学環 重粒子 線医理工学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

⑦ 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。（自
 由記載）

回答を入力

2/2 ページ

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



- 学生確保 (資料) - 13 -

「情報学研究科」「食健康科学研究科」
「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」
大学生・大学院生ニーズ調査結果

(入口のニーズ調査)

群馬大学の学部生 5,048 名、修士課程・博士前期課程の大学院生 876 名、合計 5,924 名を対象として、「情報学研究科」「食健康科学研究科」「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」に関するアンケート調査を実施した。調査時期は 2023 年 1 月であり、333 の有効回答を得た(有効回答率は 5.6%である)。また、群馬県立県民健康科学大学、群馬県立女子大学、前橋工科大学、高崎経済大学の学部生・大学院生に対して同じアンケート調査への回答協力を依頼して、47 名から有効回答を得た。

いずれのアンケート調査も回答前に、各研究科・学環の概要を記したリーフレットを読むように勧めている。以下の分析では、学部や研究科などの所属が不明である回答者と、同じ学部・研究科から 1 名しか回答していないケースを除いている。

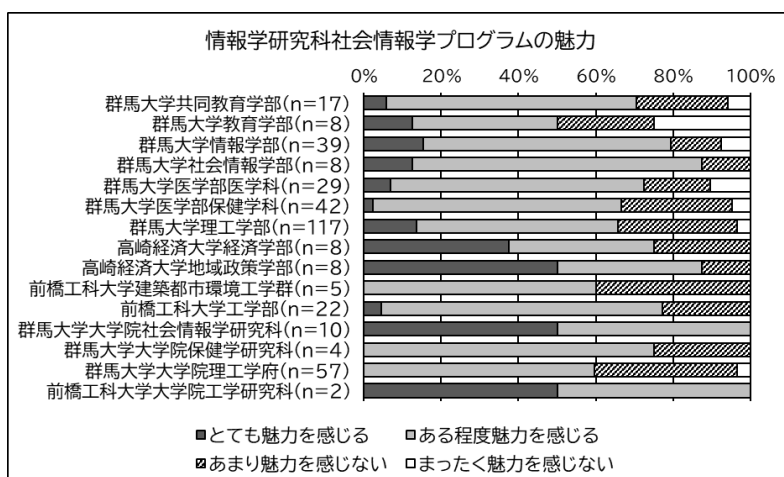


図 1.1 情報学研究科社会情報学プログラムに対する魅力の程度(%)

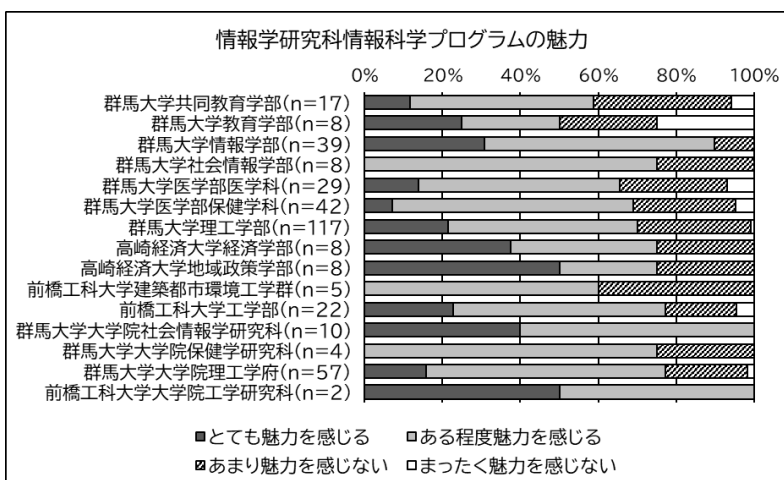


図 1.2 情報学研究科情報科学プログラムに対する魅力の程度(%)

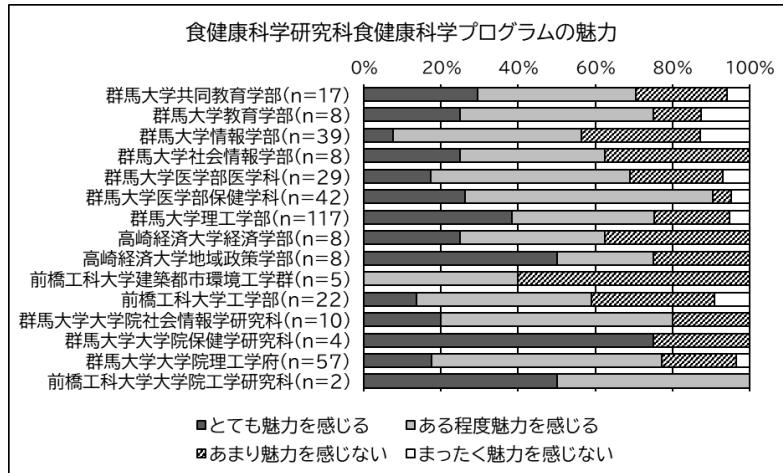


図 1.3 食健康科学研究科食健康科学プログラムに対する魅力の程度 (%)

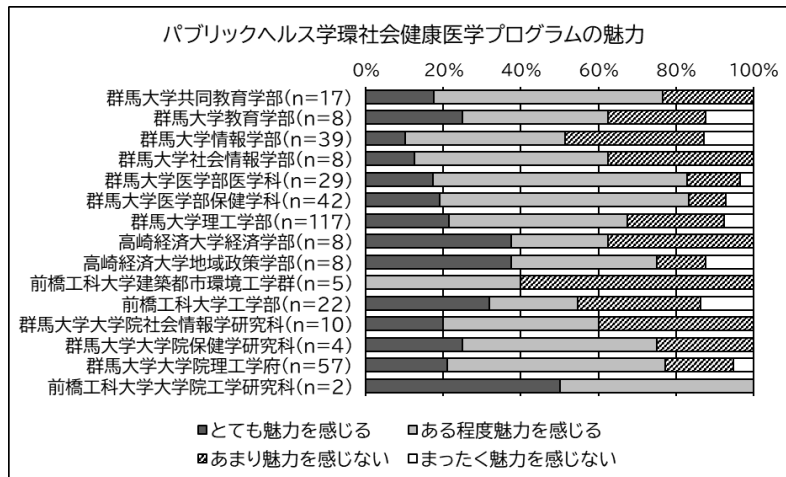


図 1.4 パブリックヘルス学環社会健康医学プログラムに対する魅力の程度 (%)

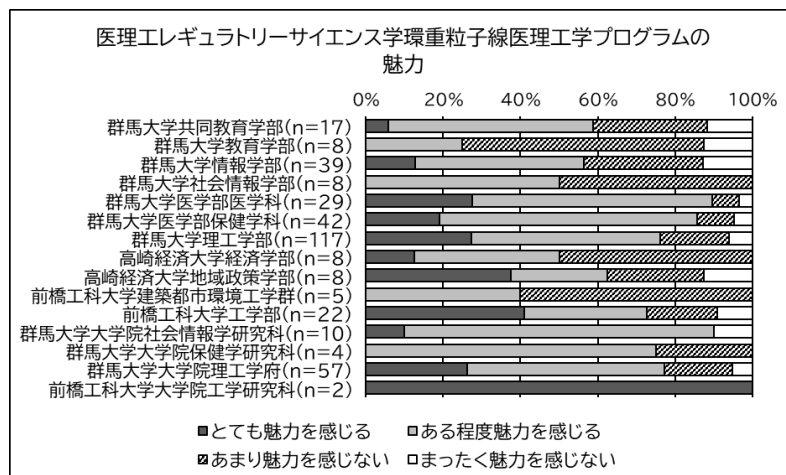


図 1.5 医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工プログラムに対する魅力の程度 (%)

図 1.1、図 1.2、図 1.3、図 1.4、図 1.5 は各研究科・学環の魅力について、4 件法(「まったく魅力を感じない」「あまり魅力を感じない」「ある程度魅力を感じる」「とても魅力を感じる」)による回答を回答者の所属する学部・研究科ごとに示したものである。ほぼすべての学部・研究科において過半数の回答者が、いずれの各研究科・学環に対しても「ある程度魅力を感じる」か「とても魅力を感じる」と回答している。群馬大学、群馬県内の大学における学部生・大学院生の関心は高いといえる。

表 1 各研究科・学環に対する「どちらかと言えば進学したい」と「進学したい」の合計(%)

	情報学研 究科社会 情報学プ ログラム	情報学研 究科情報 科学プロ グラム	食健康科 学研究科 食健康科 学プログ ラム	パブリッ クヘルス 学環社会 健康医学 プログラ ム	医理工レ ギュラト リーサイ エンス学 環重粒子 線医理工 学プログラ ム
群馬大学共同教育学部 (n=17)	23.5	29.4	47.1	11.8	5.9
群馬大学教育学部 (n=8)	37.5	50.0	37.5	37.5	25.0
群馬大学情報学部 (n=39)	33.3	56.4	15.4	17.9	12.8
群馬大学社会情報学部 (n=8)	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
群馬大学医学部医学科 (n=29)	6.9	13.8	24.1	31.0	37.9
群馬大学医学部保健学科 (n=42)	9.5	11.9	38.1	52.4	38.1
群馬大学理工学部 (n=117)	34.2	40.2	55.6	37.6	52.1
高崎経済大学経済学部 (n=8)	50.0	50.0	50.0	25.0	12.5
高崎経済大学地域政策学部 (n=8)	62.5	50.0	37.5	25.0	25.0
前橋工科大学建築都市環境工学群 (n=5)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
前橋工科大学工学部 (n=22)	27.3	36.4	27.3	31.8	50.0
群馬大学大学院社会情報学研究科 (n=10)	80.0	70.0	30.0	10.0	40.0
群馬大学大学院保健学研究科 (n=4)	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0
群馬大学大学院理工学府 (n=57)	22.8	49.1	50.9	38.6	49.1
前橋工科大学大学院工学研究科 (n=2)	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0

表 1 は各研究科・学環への進学に関する 4 件法(「進学したいとは思わない」「どちらかと言えば進学したいとは思わない」「どちらかと言えば進学したい」「進学したい」)による回答について、「どちらかといえば進学したい」と「進学したい」の合計を回答者の所属する学部・研究科ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜き文字に、30.0%以上 50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。

群馬大学の学部生に関して進学意向の割合が相対的に高いのは情報学部の学生による情報学研究科情報科学プログラム、医学部保健学科の学生によるパブリックヘルス学環社会健康医学プログラム、理工学部の学生による食健康科学研究科食健康科学プログラムと医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムであった。また、高崎経済大学の学生が情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムへ、前橋工科大学の学生が医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムへ高い割合の進学希望を示している。他方、大学院生においても各研究科・学環への進学希望の割合は高い。新設される各研究科・学環は一定の志願者を集めることになると考えられる。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、以下の新しい大学院を設置することを検討しています。

- ・情報学研究科
- ・食健康科学研究科
- ・パブリックヘルス学環
- ・医理工レギュラトリーサイエンス学環

本アンケートは、企業・団体の皆さんの採用に関する考え方、大学院における従業員の学び直しなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、企業・団体を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

(1) はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

① アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。 *

- 採用の決定権があり、選考にかかわっている
- 採用の決定権はないが、選考にかかわっている
- 採用時に直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する

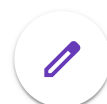


② 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名を教えてください。 *

回答を入力

③ 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。 *

- 農・林・漁・鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 飲食店・宿泊業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 公務
- その他



④ 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。*

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

⑤ 貴社・貴団体の過去（例えば3か年）の平均的な正規社員の採用数について、教えてください。（分かる範囲で結構です。）

回答を入力

⑥ ⑤のうち、大学院修了者数を教えてください。（分かる範囲で結構です。）

回答を入力

⑦ 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。*

- 増やす
- 昨年度並み
- 減らす
- 未定
- 採用予定なし
- 見送り（中止）



⑧ 貴社・貴団体では、大学院修了生を採用した実績がある場合又は採用を予定 *
している場合、学部卒業生と比較し大学院修了生の専門的知識・能力の高さの違
いを期待していますか。

- とても期待している
- ある程度期待している
- あまり期待していない
- まったく期待していない
- 大学院修了生の採用は予定していない

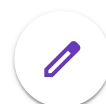
1/2 ページ

[次へ](#)[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

ここからは、リーフレットをみながら回答してください。

※リーフレットは以下のURLからアクセスできます。

https://drive.google.com/file/d/12pn7GHw3l21mWFyz4JBLud9ZYy78IH2L/view?usp=share_link

(2) 群馬大学において新たに設置しようとしている大学院についてお伺いいたします。

⑨ 各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについてどのような印象をお持ちになりましたか。*

- とても評価できる
- ある程度評価できる
- あまり評価できない
- まったく評価できない



⑩ 貴社・貴団体では、新たな研究科・学環を修了した学生について、採用 * したいと思われませんか。

	採用したいと思 う	どちらかと言え ば採用したいと 思う	どちらかと言え ば採用したいと は思わない	採用したいとは 思わない
情報学研究科 社会情報学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログ ラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究 科 食健康科学 プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘル ス学環 社会健 康医学プログラ ム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エレギュラ トリーサイエン ス学環 重粒子 線医理工学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



⑪ 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの間として、新たな研究科・学環は候補になると思われませんか。

	候補になると思 う	どちらかと言え ば候補になると 思う	どちらかと言え ば候補になると 思わない	候補になると思 わない
情報学研究科 社会情報学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログ ラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究 科 食健康科学 プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘル ス学環 社会健 康医学プログラ ム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エレギュラ トリーサイエン ス学環 重粒子 線医理工学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

⑫ 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。（自
由記載）

回答を入力

2/2 ページ

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



- 学生確保 (資料) - 25 -

「情報学研究科」「食健康科学研究科」
「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」
就職先企業ニーズ調査結果

(出口のニーズ調査)

群馬大学大学院修了生の就職先(平成27年度～令和2年度)961社、群馬経済同友会会員企業267社、前橋商工会議所会員企業114社、合計1,342社を対象として、「情報学研究科」「食健康科学研究科」「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」に関するアンケート調査を実施した。調査時期は2023年1月であり、153の有効回答を得た(有効回答率は11.4%である)。

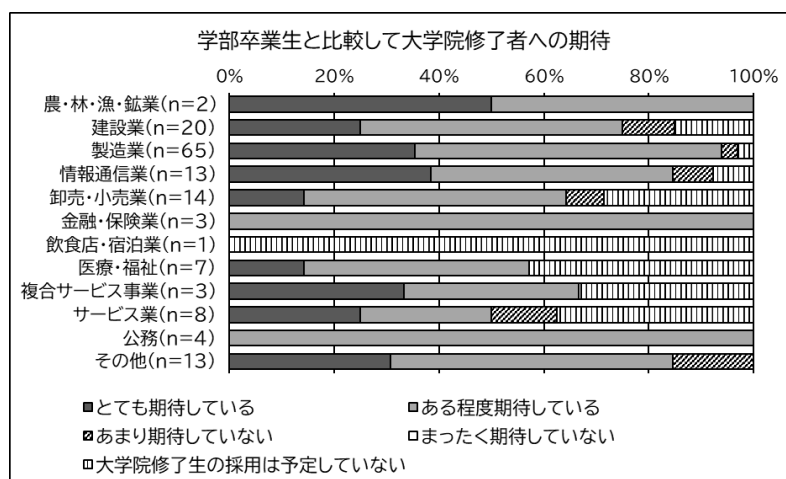


図 1.1 大学院修了生を採用した実績がある場合または採用を予定している場合における学部卒業生と比較して大学院修了生の専門的知識・能力の高さを期待する程度(%)

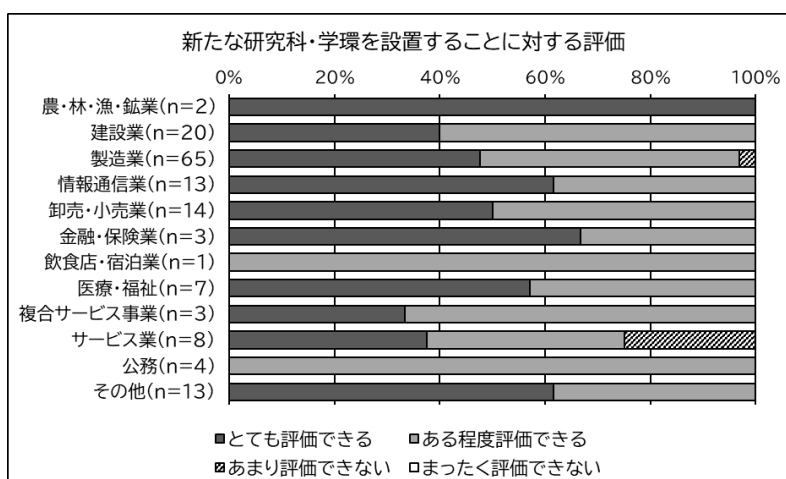


図 2 各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについての評価の程度(%)

図 1 は大学院修了生を採用した実績がある場合または採用を予定している場合における学部卒業生と比較して大学院修了生の専門的知識・能力の高さを期待する程度について、4 件法(「まったく期待していない」「あまり期待していない」「ある程度期待している」「とても期待している」)による回答(別途「大学院修了生の採用を予定しない」という選択肢がある)を回答企業の業種ごとに示したものである。回答者数が 1 社のみであった飲食店・宿泊業を除いて、どの業種においても「ある程度期待している」と「とても期待している」の合計は 5 割以上である。図 2 は各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについての評価の程度を回答企業の業種ごとに示したものである。「ある程度評価できる」と「とても評価できる」の合計はどの業種でも 7 割以上である。概ね大学院生の就職先企業からは高く評価されていると解釈できる。

表 2.1 新たな研究科・学環を修了した学生について「どちらかと言えば採用したい」と「採用したい」の合計(%)

	情報学研究 科社会情報 学プログラム	情報学研究 科情報科学 プログラム	食健康科学 研究科食健 康科学プロ グラム	パブリックハ ルス学環社 会健康医学 プログラム	医理エレジ ュラトリーサイ エンス学環重 粒子線医理 工学プログ ラム
農・林・漁・鉱業 (n=2)	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0
建設業 (n=20)	70.0	70.0	40.0	25.0	25.0
製造業 (n=65)	73.8	84.6	55.4	50.8	60.0
情報通信業 (n=13)	100.0	100.0	69.2	61.5	69.2
卸売・小売業 (n=14)	85.7	85.7	64.3	64.3	57.1
金融・保険業 (n=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
飲食店・宿泊業 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉 (n=7)	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9
複合サービス事業 (n=3)	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7
サービス業 (n=8)	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0
公務 (n=4)	100.0	100.0	75.0	75.0	50.0
その他 (n=13)	92.3	92.3	53.8	46.2	53.8

表 2.1 は新たな研究科・学環を修了した大学院生の採用に関する 4 件法(「採用したいとは思わない」「どちらかといえば採用したいとは思わない」「どちらかといえば採用したい」「採用したい」)による回答について、「どちらかといえば採用したい」と「採用したい」の合計を回答企業の業種ごとに示したものである。50.0%以上のマスを白抜き文字に、30.0%以上 50.0%未満のマスの背景色をグレーにしている。どの研究科・学環においても、多くの業種で 50%以上の企業が肯定的な回答をしている。とりわけ、情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムでは農・林・漁・鉱業、情報通信業、公務で 100.0%となっていて、また、回答者数が最も多く群馬県内の有力な業種である製造業(n=65)では、すべての研究科・学環が過半数となっていて、新たな研究科・学環に対する期待の高さが窺われる。これらの研究科・学環の修了生は各企業の即戦力として認められることが想定される。

表 2.2 新たな研究科・学環が従業員の学び直しの場の候補になるかどうかについて「どちらかと言えば候補になると思う」と「候補になる」の合計(%)

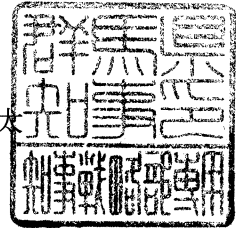
	情報学研究 科社会情報 学プログラム	情報学研究 科情報科学 プログラム	食健康科学 研究科食健 康科学プロ グラム	パブリックヘルス学環社 会健康医学 プログラム	医理エリギュ ラトリーサイ エンス学環重 粒子線医理 工学プログラ ム
農・林・漁・鉱業 (n=2)	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
建設業 (n=20)	50.0	50.0	25.0	15.0	15.0
製造業 (n=65)	67.7	75.4	35.4	36.9	49.2
情報通信業 (n=13)	84.6	84.6	23.1	23.1	38.5
卸売・小売業 (n=14)	78.6	78.6	50.0	50.0	28.6
金融・保険業 (n=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
飲食店・宿泊業 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉 (n=7)	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9
複合サービス事業 (n=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3
サービス業 (n=8)	62.5	62.5	50.0	37.5	25.0
公務 (n=4)	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0
その他 (n=13)	92.3	92.3	61.5	53.8	53.8

表 2.2 は新たな研究科・学環が従業員の学び直しの場の候補になるかどうかに関する 4 件法（「候補になるとは思わない」「どちらかと言えば候補になるとは思わない」「どちらかと言えば候補になる」「候補になる」）による回答について、「どちらかといえば候補になる」と「候補になる」の合計を回答企業の業種ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜き文字に、30.0%以上 50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムでは、ほとんどの業種で過半数の企業が肯定的な回答をしている。食健康科学研究科食健康医学プログラムとパブリックヘルス学環社会健康医学プログラムでは、農・林・漁・鉱業、卸売・小売業、金融・保険業、複合サービス業、公務、その他で、医理エリギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムでは金融・保険業、公務、その他で過半数の企業が肯定的な回答をしている。すべての研究科・学環において従業員を対象とするリカレント教育が期待されていると考えられる。

戦企第306-13号
令和5年2月24日

国立大学法人群馬大学長
石崎泰樹様

群馬県知事
山本 一太



重粒子線医理工学分野の人材育成に関する要望書

貴学におかれましては、本県に立地する国立大学として、地域の知の拠点、地域の教育、医療を担う中核となり、活力ある地域社会の創造、産業の発展、医療福祉の向上に寄与されるとともに、豊かな人間性と高度な専門知識を兼ね備えた優れた人材を育成されていることに対して、心より敬意と感謝を表します。

さて、本県は、平成22年度に貴学と共同で整備した重粒子線治療施設において、より多くの方に重粒子線がん治療を提供できるよう、普及啓発を行い、治療を受けやすい環境整備に取り組んできました。治療実績は令和4年10月の時点で延べ約6,000人となり、県内外から広く患者を受け入れています。

その基盤には、貴学における重粒子線医学・生物学の基礎と重粒子線先端臨床研究並びに高度医療機器の開発・運用技術の両面における教育研究があり、現在取り組まれている、医学系研究科及び理工学府が連携した「重粒子線医理工連携コース」での重粒子線医理工学を牽引する優れたリーダーの育成があります。

本県では、人口減少の中にあっても誰でも住み慣れた地域で暮らせる医療提供体制を目指し、医療機関同士の役割分担及び連携を進めています。さらには、貴学と地域の医療関係者、市町村等と一体となって進める地域の未来を担う若手医師の育成と県内定着に向けた取組を支援しています。

このたび、貴学が設置を検討している重粒子線医理工学分野の大学院教育プログラムは、貴学におけるこれまでの取組を発展・強化するものであり、世界的な発展が期待される重粒子線医理工学によるメディカルイノベーションに寄与することが期待され、これまで以上に人々の健康と福祉を向上させ、県民の幸福度の向上にも資するものと考えられますので、本県としても、貴学との連携に大いに期待を持って、早期に実現されることを強く要望いたします。